



アメリカ・臨界前核実験に抗議

枚方市がバイデン大統領宛に抗議文

アメリカ合衆国がネバダ州において、5 月 14 日に臨界前核実験を行っていたとの情報を受け、枚方市は 5 月 20 日、アメリカ合衆国ジョー・バイデン大統領宛に抗議文をアメリカ大使館へ送った。長期化するロシアのウクライナ侵攻や中東情勢が深刻化するなど国際社会の平和と秩序が脅かされる中で明らかとなった行為に対するもの。アメリカ合衆国に対し、核廃絶に向けたあらゆる核実験の廃止に加え、核兵器の廃絶と恒久平和の実現に向けた主導的な役割を求めている。枚方市は日本非核宣言自治体協議会の副会長市でもあり、これまでも世界中で核実験の実施が確認されれば即時に実施国に対し抗議文を提出している。

★市は、これまでも世界中で核実験の実施が確認されれば、即時に実施国に対し抗議文を送付している。核実験に対する抗議は 2022 年 4 月以来で、その際にもアメリカ合衆国ジョー・バイデン大統領宛に臨界前核実験を行ったことに対する抗議文を送っている。

★市は、1982 年に府内で初めて「非核平和都市」を宣言した自治体であり、また長年、日本非核宣言自治体協議会の副会長市を務めている。

★送付した抗議文は別紙のとおり。

<お問い合わせ>

市長公室 人権政策課 ☎072-841-1259、ファクス 072-841-1700

抗議文

2024年5月20日

在日アメリカ合衆国大使館気付

アメリカ合衆国大統領

ジョー・バイデン 閣下

日本国 大阪府 枚方市長 伏見 隆

貴国がネバダ州において、5月14日に臨界前核実験を実施したとの情報に接しました。

ロシアによるウクライナ侵攻は長期化し、中東情勢が深刻化するなど、国際社会の平和と秩序が脅かされている中で、明らかとなった貴国の行為は、世界中の人々に不安や恐怖を与えるもので、断じて許すことはできません。

私たちは、人類の生存を脅かす究極の兵器が核兵器であるとの認識に立ち、すべての核の廃絶を求め、その開発にかかるあらゆる実験に抗議いたします。

貴国におかれましては、今後のあらゆる核実験の中止措置を行い、世界の大国として真摯に核軍縮に取り組み、「核兵器のない世界」の実現に向けた主導的役割を果たされるよう重ねて強く求めます。